

平成20年度 教育課程

1. 編成における基本的な考え方

- (1) 週当たりの授業時間数は29時間を基本とする。
- (2) 1単位時間は50分とする。
- (3) 1年間の前期、後期に分け2学期制で編成する。
 - ① 前期を18週、後期を17週とする。
 - 前期： 4月 7日(月)～10月 8日(水)
 - 後期： 10月14日(火)～ 3月25日(水)
 - ② 前期と後期の間に秋季休業日を設定する。その代替として夏季休業日に授業日を設定する。
 - ③ 時間割は時数の調整上、通年で固定せず、前半(10月末まで)と後半(11月から)に分ける。変更の時期は前期から後期に変わる時期とは一致していないので注意すること。

2. 年間授業時数及び年間授業計画

(1) 各教科等の年間授業時数

		必修教科									道徳	学活	選択	総合	合計
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語					
1年	年間	140	105	105	105	45	45	90	70	105	35	35	30	70	980
	4月～10月	80	60	60	60	30	30	60	40	60	20	20	0	40	560
	前半20週	(4)	(3)	(3)	(3)	(1.5)	(1.5)	(3)	(2)	(3)	(1)	(1)	(0)	(2)	(28)
	11月～3月	60	45	45	45	15	15	30	30	45	15	15	30	30	420
	後半15週	(4)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)	(2)	(2)	(3)	(1)	(1)	(2)	(2)	(28)
2年	年間	105	105	105	105	35	35	90	70	105	35	35	85	70	980
	4月～10月	60	60	60	60	20	20	60	40	60	20	20	40	40	560
	前半20週	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)	(3)	(2)	(3)	(1)	(1)	(2)	(2)	(28)
	11月～3月	45	45	45	45	15	15	30	30	45	15	15	45	30	420
	後半15週	(3)	(3)	(3)	(3)	(1)	(1)	(2)	(2)	(3)	(1)	(1)	(3)	(2)	(28)
3年	年間	105	85	105	80	35	35	90	35	105	35	35	155	80	980
	4月～10月	60	40	60	50	20	20	60	20	60	20	20	80	50	560
	前半20週	(3)	(2)	(3)	(2.5)	(1)	(1)	(3)	(1)	(3)	(1)	(1)	(4)	(2.5)	(28)
	11月～3月	45	45	45	30	15	15	30	15	45	15	15	75	30	420
	後半15週	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(3)	(1)	(1)	(5)	(2)	(28)

※ ()内の数字は週当たりの時数

(2) 各学年の年間授業計画

時間割を前半と後半の2回編成する。

○前半 4月 7日(月)～10月31日(金) 20週

○後半 11月 4日(火)～ 3月25日(水) 15週

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
1年 授業 計画	必修教科・道徳・学活											
	国(4h×35週=140h) 社(3h×35週=105h) 数(3h×35週=105h) 理(3h×35週=105h) 音(1h×35週+前期10h=45h) 美(1h×35週+補10h=45h) 保体(2h×35週+補20h=90h) 技家(2h×35週=70h) 英(3h×35週=105h) 道(1h×35週=35h) 学(1h×35週=35h)											
	音・美 (1h×20週=20h) (音と美を隔週で行うので、各10hずつ)					選択教科・講座選択 [5教科5講座より1講座, 4教科5講座より1講座] (各講座週1h×15週×2講座=30h) ※1～3組と4～7組の2グループ実施						
	保体 (1h×20週=20h)											
総合的な学習 (2h×35週=70h)												
2年 授 業 計 画	必修教科・道徳・学活											
	国(3h×35週=105h) 社(3h×35週=105h) 数(3h×35週=105h) 理(3h×35週=105h) 音(1h×35週=35h) 美(1h×35週=35h) 保体(2h×35週+補20h=90h) 技家(2h×35週=70h) 英(3h×35週=105h) 道(1h×35週=35h) 学(1h×35週=35h)											
	選択教科・コース選択 [数・英各2講座(合計4講座)から数・英各1講座(計2講座)を選択] (1h×35週×2講座=70h)											
	保体 (1h×20週=20h)					選択教科・講座選択 [7教科8講座より1講座] (週1h×15週×1講座=15h)						
総合的な学習 (2h×35週=70h)												
3年 授 業 計 画	必修教科・道徳・学活											
	国(3h×35週=105h) 社(2h×35週+後期15h=85h) 数(3h×35週=105h) 理(2h×35週+補10h=80h) 音(1h×35週=35h) 美(1h×35週=35h) 保体(2h×35週+補20h=90h) 技家(1h×35週=35h) 英(3h×35週=105h) 道(1h×35週=35h) 学(1h×35週=35h)											
	選択教科・コース選択 [国・数・英各2講座(合計6講座)から国・数・英各1講座(計3講座)を選択] (1h×35週×3講座=105h)											
	保体 (1h×20週=20h)					選択教科・講座選択 [2教科4講座より1講座] (各講座週1h×35週×1講座=35h) ※1～3組と4～6組の2グループで実施						
理科 (1h×10週=10h)					総合的な学習 (1h×10週=10h)				社会 (1h×15週=15h)			
総合的な学習 (2h×35週=70h)												

3. 週時程及び日課

(1) 週時程

	月	火	水	木	金
	SHR	朝会	SHR	SHR	SHR
1	○	道徳	○	○	○
2	○	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○
5	○	○	◎	○	総合
6	△	○	総合	○	学活
	SHR	SHR	SHR	SHR	SHR

(2) 日課

	6校時		5校時	
朝読	8:25 ~ 8:35	朝読	8:25 ~ 8:35	
SHR	8:35 ~ 8:40	SHR	8:35 ~ 8:40	
1	8:50 ~ 9:40	1	8:50 ~ 9:40	
2	9:50 ~ 10:40	2	9:50 ~ 10:40	
3	10:50 ~ 11:40	3	10:50 ~ 11:40	
4	11:50 ~ 12:40	4	11:50 ~ 12:40	
昼食	12:50 ~ 13:00	昼食	12:50 ~ 13:00	
休憩	~ 13:20	休憩	~ 13:20	
予鈴	13:20	予鈴	13:20	
5	13:25 ~ 14:15	5	13:25 ~ 14:15	
6	14:25 ~ 15:15	清掃	14:20 ~ 14:35	
清掃	15:20 ~ 15:35	SHR	14:40 ~ 14:55	
SHR	15:40 ~ 15:55			

◎は毎週授業が入る。

△は不足した授業の補填

毎週火曜日に全校朝会または生徒会朝会を交互に行う。

4. 選択教科

(1) 選択教科のねらい

- ① 基礎学力の充実
- ② 主体的な取組による個性の伸長
 - 生徒一人一人の個性の多様化に対応しながら、生徒自らが主体的に学習に取り組み、興味・関心をもとに自分の可能性を引き出す。

(2) 選択教科の運営について

- ① 講座内容について
 - 補足的な内容…基礎・基本の反復練習等を行い、基礎学力を定着させる学習
 - 発展的な学習…必修教科の内容を深化、発展させる学習
- ② 時間数及び講座選択数について

時間数		講座選択数	
第1学年 30 h	30 h	後半	選択A [国・社・数・理・英の各1講座。計5講座より1講座] ※学年を2グループに分け、グループごとに同一時間に実施 ※各講座週1時間 選択実技 [音・美・体・技・家の各1講座。計5講座より1講座] ※学年を2グループに分け、グループごとに同一時間に実施 ※各講座週1時間
第2学年 85 h	70 h	通年	選択数学, 選択英語 [数・英(各2講座)より、各1講座選択] ※各クラスを2つに分けて実施(教科内コース選択) ※各講座週1時間
	15 h	後半	選択A [国・社・理・音・美・体・技・家の各1講座より1講座] ※全クラス同一時間に実施 ※各講座週1時間
第3学年 155 h	105 h	通年	選択国語, 選択数学, 選択英語 [国・数・英(各2講座)より、各1講座選択] ※各クラスを2つに分けて実施(教科内コース選択) ※各講座週1時間
	35 h	通年	選択A [社・理各2講座。計4講座より1講座] ※学年を2グループに分け、グループごとに同一時間に実施 ※各講座週1時間
	15 h	後半	選択実技 [音・美・技・家各1講座、体2講座。計6講座より1講座] ※学年を2グループに分け、グループごとに同一時間に実施 ※各講座週1時間

(3) 各教科講座内容

【1年】

ア 選択Aは、後半のみで5教科5講座から1講座選択（学年2グループ）

イ 選択実技は、後半のみで4教科5講座から1講座選択（学年2グループ）

選択A			選択実技		
番	教科	講座内容	番	教科	講座内容
①	国語	確かな漢字能力を身に付けよう	⑥	音楽	リズムに親しみ合奏を楽しもう
②	社会	ニュースから学ぼう	⑦	美術	工芸「彫金に挑戦」
③	数学	レッツ！！数楽	⑧	保体	軽スポーツ
④	理科	理科実験講座	⑨	技術	テブカッターの作製（木材加工）
⑤	英語	英検5級	⑩	家庭	編み物

【2年】

ア コース選択は、通年で各1講座選択

イ 選択Aは、後半のみで7教科8講座から1講座選択（学年1グループ）

コース選択			選択A		
番	教科	講座内容	番	教科	講座内容
①	数学	数学の基礎・基本Ⅰ	⑤	国語	ことばの世界を広げよう
②	数学	数学の基礎・基本Ⅱ	⑥	社会	映像から歴史を学ぼう
③	英語	英語基礎充実講座Ⅰ	⑦	理科	理科復習講座
④	英語	英語基礎充実講座Ⅱ	⑧	音楽	リコーダーアンサンブル&ミュージカを楽しもう
			⑨	美術	デザイン「スクラッチによる技法」
			⑩	保体	軽スポーツ
			⑪	技術	ペンスタンドの作製（金属加工）
			⑫	家庭	編み物

【3年】

ア コース選択は、通年で各1講座選択

イ 選択Aは、通年で2教科4講座から1講座選択（学年2グループ）

ウ 選択実技は、後半のみで4教科6講座から1講座選択（学年2グループ）

コース選択			選択A		
番	教科	講座内容	番	教科	講座内容
①	国語	問題演習Ⅰ（基本問題演習）	⑦	社会	地理・歴史の基本を学ぼう
②	国語	問題演習Ⅱ（発展問題演習）	⑧	社会	映像から学ぼう
③	数学	数学の基礎・基本Ⅰ	⑨	理科	入試対策演習・科学の社会への応用
④	数学	数学の基礎・基本Ⅱ	⑩	理科	入試対策・難問演習
⑤	英語	英語基礎定着講座Ⅰ	選択実技		
⑥	英語	英語基礎定着講座Ⅱ			
			番	教科	講座内容
			⑪	音楽	ギターアンサンブル
			⑫	美術	工芸「小箱をつくろう」
			⑬	保体	球技
			⑭	保体	軽スポーツ
			⑮	技術	組み立て椅子（木材加工）
			⑯	家庭	編み物

(4) 評価について

・「意欲・態度」「知識・技能」の2つの観点と総合評価をA, B, Cの絶対評価で行う。

5. 総合的な学習の時間

(1) 総合的な学習の時間とは

- 自分自身で課題を見つけ、課題解決のためいろいろな人と出会い、体験し、新しい発見をし、自分自身を見つめなおす時間

(2) 総合的な学習の時間のねらい

- ① 自己の生き方を考える能力の育成
 - ・ 自己を見つめ、現在や将来について真剣に考え、卒業後の進路を主体的に選択し生きがいのある生活を実現していく自己の生き方について考えることができる。
- ② 問題解決能力の育成
 - ・ 自ら課題を見つけ、自ら学び自ら考え、よりよく課題を解決することができる。
 - ・ 問題解決学習や調査的な学習を通して、科学的な思考や調査の方法、情報への対応、資料の活用、まとめ方などの学び方を身につけることができる。
- ③ コミュニケーション能力の育成
 - ・ 体験活動や生き方の学習に取り組むことで、他の人や地域社会を意識するようになり、ともに生きていくための方法を知ることができる。
 - ・ 他人の意思をくみ取る能力や自己表現能力を高めることができる。

(3) 共通テーマ

ひとりひとりが幸せに暮らせる地域社会のために
—これからの共生社会について考える—

(4) 学習活動について

	1学年(70h)	2学年(70h)	3学年(80h)
テーマ	共に生きる～仲間と ○総合基礎（宿泊研修） ○地域に学ぶⅠ（フィールドワーク） ○福祉体験学習 ○進路設計Ⅰ ○福祉ボランティア学習	共に生きる～地域と ○進路設計Ⅱ（職場体験学習・上級学校について） ○地域に学ぶⅡ（農村体験）	共に生きる～発信 ○地域に学ぶⅢ（フィールドワーク・卒業論文） ○進路設計Ⅲ（先輩に話を聞く会） ○環境とエネルギー
目標	・ 体験を通して課題に気づき、仲間とともに協力して行動し、課題を解決していこうとする意欲を育てる。 ・ 課題を解決するためのいろいろな方法を学ぶ。	・ いろいろな体験を通して、身のまわりや社会に関心を持ち、課題を発見し、意欲的に課題を解決していく力を身につける。 ・ 自己の特性や将来の職業や進路に対する関心と理解を深める	・ 自らの生活体験、各教科の学習などを通して学んだことを生かし、社会にあるさまざまな課題に気づき、その解決を目指し、自ら考え行動することができる。 ・ 他との関わりを通し、自分の考え方や生き方について考えることができる。
観点	「関心・意欲・態度」 「課題設定能力」 「学び方・ものの考え方」	「関心・意欲・態度」 「問題解決能力」 「自己の生き方」	「関心・意欲・態度」 「学習への主体的、創造的な態度」 「自己の生き方」